

Julabo Case Study

22-1

JULABO PRESTO® A40

5リットルのガラス反応容器を用いて、
+100°Cの温度安定性試験を実施。



目的

5L ガラス反応容器を用いて JULABO PRESTO®A40 の
温度安定試験を実施しました。A40 は 2.0 m の金属チューブ 2 本
を介して反応容器に接続されています。

A40 は設定温度+100°Cでセットされています。

環境

室温	+20°C
湿度	45%
電圧	230 V / 50 H z

テスト条件

製品型式	JULABO Presto A40
冷却能力	+20 ° C 1.2 kW 0 ° C 0.9 kW -20 ° C 0.6 kW
ヒーター能力	2.7 kW
帯域制限	なし
吐出圧	0.40 bar
循環液	JULABO Thermal HL40
反応容器	5L ガラス製反応容器 (Rettberg社製) 内部を JULABO Thermal HL40 5L で満たす
温度制御	外部制御(ICC)



テスト結果

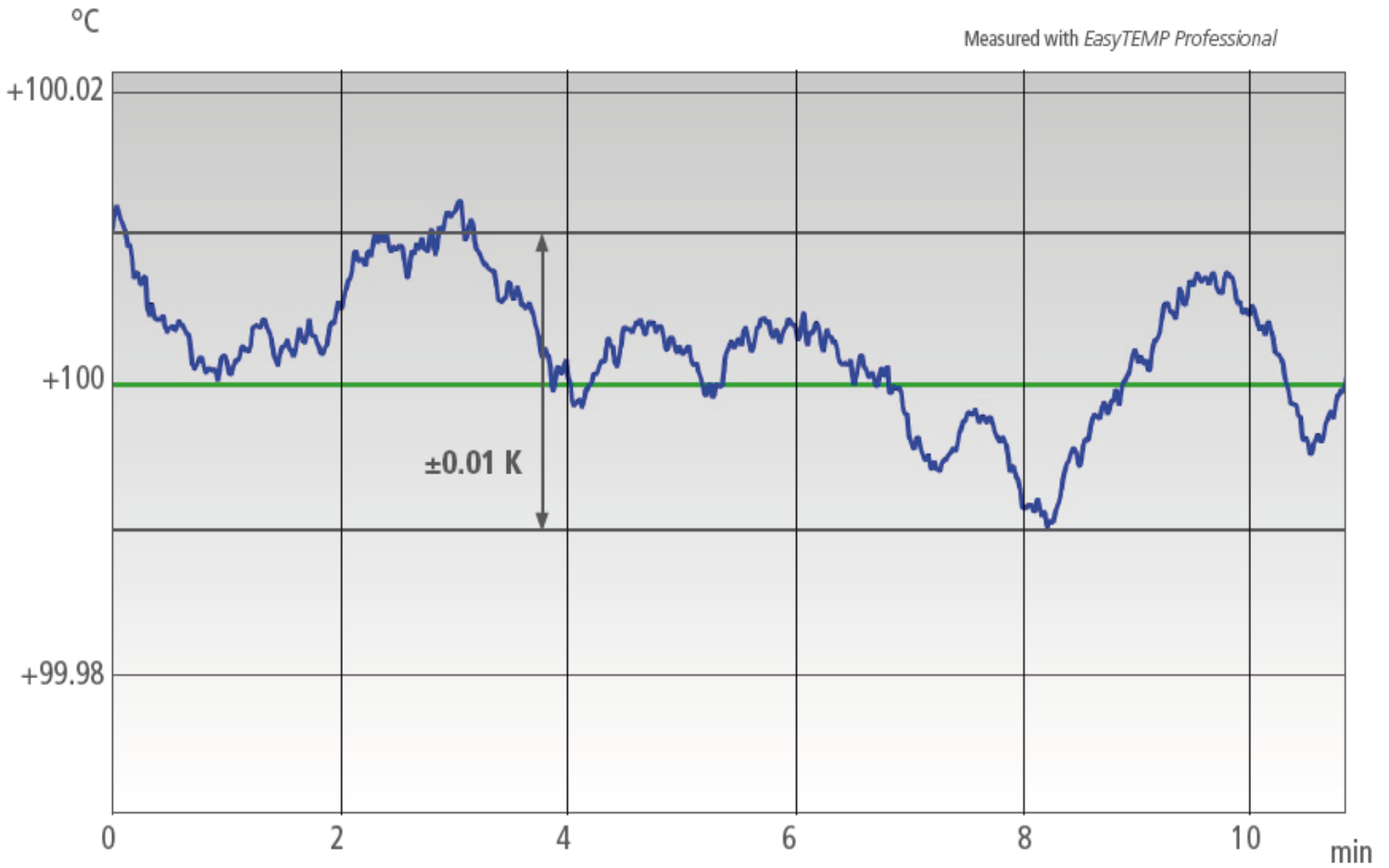
次ページのグラフを参照してください。

A40 はリアクターを+100°Cに加熱し+100°Cの温度に達した後、反応
器内の温度は 10 分間約±0.01K 変動しました。

特徴

PTFE コーティングされた
Pt100 センサーが使用可能
です。





— Setpoint

設定温度

— Temperature in reactor's interior

反応容器内の温度

特徴

吐出圧力を任意の数値にて制御します。プレストでは希望する圧力にて設定することが可能です。



特徴

プレストではイーサネットインターフェースを使ってすべての操作へアクセスする機能を有しています。

